

入院治療計画書

大腸切除術

主治医：@主担当医

担当医：@担当医1

担当看護師：@担当看護師

主治医以外の担当者：薬剤師：

管理栄養士：

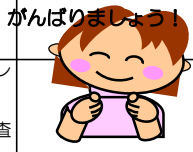
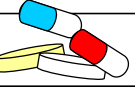
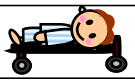
I D：@PATIENTID

入院科：@USERBELONGSECTION

生年月日：@PATIENTBIRTH2

病名：

患者氏名：@PATIENTNAME 様

月/日 経過（病日等）	外来・入院日～手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1病日	2病日	3病日	4-7病日	7-10病日
達成目標	①手術・治療について説明をうけ、安心して準備段階を過ごすことができる。 ②わからないことは遠慮せず、医療者に確認することができる。 	①術前準備について説明をうけ、安心して手術室へ出稼できる 	①医療者の問いかけ、指示に従うことができる（深呼吸） ②ベット上安静・絶飲食が守れる。 ③痛みを訴えることができる。	①早期離床ができる。 ②痛みを訴えることができる ③術後偶発症について説明を受け、予防行動がとれる。	①看護師の介助にてトイレ歩行ができる。		①食事摂取の仕方と合併症について説明を受け、少量ずつ食事ができ、合併症を予防できる ②少しずつ身の回りのことができるようになる	①退院後の日常生活の注意事項について説明を受け、安心して退院できる 
治療・処置	 ○臍をきれいにします ○必要に応じて除毛を行います ○手術前日に下剤を内服します 	○朝～点滴をはじめます ○看護師が弾性ストッキングをはくお手伝いをします ○手術着に着替えます 	○看護師が頻回に伺い、体温や血圧測定などを行います ○酸素マスク・心電図をします ○手術後の点滴をします ○抗生剤の点滴をします ○膀胱留置カテーテルが入ります 	○看護師が頻回に伺い、体温や血圧測定などを行います ○酸素マスク・心電図をします ○傷口を確認します ○24時間持続にて点滴をします 	○傷口を確認します ○膀胱留置カテーテルを抜去します。その後、トイレで排泄ができます （直腸切除術では抜去しないこ		○傷口を確認します。（お腹の管がある場合は第5病日以降に抜きます） ○食事とともに点滴を減らし、4病日で終了の予定です。	
検査	○胸部・腹部のレントゲン写真、血液検査、心電図、呼吸機能検査などをします 		○採血をします 	○採血をします ○胸部・腹部のレントゲン写真をとります		○採血をします	○必要時に採血をします ○必要時に胸部・腹部のレントゲン写真をとります	おめでとう ございます 
内服	○お薬を飲んでいる方は他院の薬を含めてすべて持参してください 							
食事	○夕食（濃厚流動食）までとれます ○飲水は自由です	○午前（ ）時まで飲水ができます 	○手術後は食べたり飲んだりではできません 	○飲水が可能になります 	○流動食が開始になります	○3日目より食事が開始となります。3分、5分、全粥、米飯の順に1日おきに食形態が異なります。（直腸切除術では開始日が遅れることもあります。） 		
看護	○院内は自由です ○入浴またはシャワーができます ○トイレで排泄ができます		○ベット上で安静です ○寝返りはできません ○痛みがある時、眠れない時は看護師までお声をかけてください。 内服または点滴ができます 	○看護師が体を拭くお手伝いをします ○歩行を開始します 	○看護師が頻回に伺い、体温や血圧測定などを行います		○第3病日以降、シャワー浴ができます 	
説明・指導	○担当医師より、入院の日程、手術について説明があります ○麻酔科を受診し、麻酔医の説明を受けます	○医師より手術について説明があります ○看護師より入院生活について説明があります ○手術室看護師が訪問に伺います ○薬剤師より持参薬・服薬歴の確認を行います	○術前の準備、術後の状態、痛みのケア、安静、トイレ、清拭についてご説明します ○手術前にうがい、歯磨きを済ませておいてください ○ヘアピン、義歯、貴金属類をおとりください ○手術前にトイレを済ませておいてください 	○歩行方法・トイレについてご説明します			○食事の摂取方法および合併症の予防についてご説明します 	○退院後の生活についてご説明します ○特別な栄養管理の必要性があり、栄養士より退院後の食事についてご説明します ○次回の外来受診日についてご説明します
					○院内は自由です（1日1回以上は歩行練習を行いましょう）			

★ 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

上記の説明を受け、治療内容を理解しました。

@SYSDATE

説明者：

説明を受けた人：

（代表者）

続柄

（ ）

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2 入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフにお尋ねください。

高齢者総合評価の実施 ☐ 有 ☐ 無

総合的な	基本的な生活動作	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
機能評価	日常生活動作	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
	認知機能	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
	気分・心理状態	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察